

大和郡山市 農香だより

第53号

平成29年11月発行
大和郡山市農業委員会

Cover Photo
奈良特産イチゴ
『古都華』

会長就任挨拶

農家のみなさまにおかれましては、農業委員会活動に、ご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

この度、農業委員各位のご推挙により、会長に就任いたしました。会長という大役、重責を前に、決意を新たにしたところでございます。

農業委員会は、昨年の大幅な制度改正により、農業委員は公選制から市町村長による任命制に、また、農業委員会内に農地利用最適化推進委員が新設されました。

本市におきましても7名の農業委員が市長より任命を受け、地区担当の12名の農地利用最適化推進委員を農業委員会が、委嘱したところでございます。

農業を取り巻く環境は、急激な時代の変化に伴い、年々厳しくなっております。しかし、農業委員、農地利用最適化推進委員がともに協力しながら、農業者の代表機関という役割を果たすため、本市の農地利用の最適化の推進という大きな課題に、全力で取り組んでまいりたいと思います。

今後とも、農家のみなさまのご支援、協力を心からお願い申し上げ、会長就任の挨拶といたします。

大和郡山市農業委員会
会長 飯田 喜代視



もくじ

| | |
|--------------------------------------|-----|
| ■会長就任挨拶 | 1 |
| ■新体制がスタートしました!〈農業委員・農地利用最適化推進委員のご紹介〉 | 2~3 |
| ■元気ハツラツ朝市紹介! | 4 |
| ■大和郡山の特産品紹介～古都華(ことか)～ | 4 |

新体制がスタートしました!



7月20日に開催された農業委員任命式では、大和郡山市長から7名が農業委員に任命され、飯田喜代視氏が会長に、副会長には中津甚之丞氏が選出されました。

また、農業委員会法の改正に伴い新設された農地利用最適化推進委員12名が、農業委員会から委嘱され、合わせて19名での新体制がスタートしました。

■農業委員の主な仕事

総会において、農地の売買・貸し借りの許可や、農地転用許可等の可否について審議します。また、推進委員と協力して、農地利用の最適化(担い手への農地利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消、新規参入の促進)を推進します。

■農地利用最適化推進委員の主な仕事

担当地区において、農地利用の最適化の推進を行います。また、担当地区において転用申請があった場合には、現地調査を行い総会に出席して報告、意見を述べます。



農業委員

会長



飯田 喜代視
上三橋町

副会長



中津 甚之丞
長安寺町



東口 義巳
白土町



中筋 光弘
新町



今西 高弘
下三橋町



亀岡 静代
南郡山町



横川 豊和
新木町



農地利用最適化推進委員



矢田地区担当
中尾 吉成
矢田町



矢田地区担当
伊藤 善憲
城町



郡山地区担当
廣本 雅昭
北郡山町



平和地区担当
森村 太
稗田町



平和地区担当
南田 圭司
井戸野町



片桐地区担当
杉本 憲司
小林町



片桐地区担当
市山 敷美
西田中町



昭和地区担当
大西 光男
柏木町



昭和地区担当
森川 吉章
額田部北町



筒井地区担当
西本 利和
天井町



治道地区担当
辻井 廣至
中城町

「元気ハツラツ朝市」紹介!



今回は、JA矢田支店の朝市を訪れてみました。

他の地域の朝市には何度も行っておりながら、最も私の住まいに近い朝市であるここはなぜか今回初めての訪問です。

朝9時から始まるところ、私が訪れた日には9時半くらいには出品された野菜やパンなどの大半が売れ、スタッフの女性陣が仲良く談笑されておられました。

葉のついた大根を手に持つと、葉のおいしい食べ方を教えていただいたり、カボチャをひとつ持つと、「こっちの黄色い方がいいよ」と声がけしていただいたりと、いつも買い物の時ではないコミュニケーションがあり、心地良い。何度も訪れると、スタッフの皆さんと本当に親しくなれそう。その方は当然、私の地元の農家の皆さんだ。



矢田地区で農家の女性が中心となり、有機肥料・減農薬で作られた、身体にやさしい旬の地元野菜の朝市です。この朝市には農業委員の亀岡委員も参加しています。

毎月、第1土曜日・第3水曜日の午前9時からJA矢田支店で開催



(農業委員:横川)

大和郡山の特産品紹介

～古都華(ことか)～



古都華は、奈良県農業総合センターが平成23年に品種登録した、奈良県生まれのイチゴです。果皮はツヤのある赤色で香りが強く、糖度と酸度が高めで深みのある味わいです。奈良県でもアスカルビーに比べて栽培している農家はわずかですが、最近メディア等に取り上げられてから、急激に需要が増えています。大和郡山でも農業委員の今西さんや、推進委員の南田さん、佃さんが栽培しています。

といえば、今まで訪問した朝市は道の駅だったり、観光で訪れた町の朝市が多かったよなあ…。その点、今回の朝市に並んでいる商品は自宅に本当に近い農地で、本当に近所でがんばっておられる生産者の方々の作品だし、そんな方々には本当に応援したい。

朝市が、単なる買い物の場というだけではなく、本当の地元生産者の方とのコミュニケーションの場であり、応援の場であるということに、私は今回の朝市訪問で恥ずかしながら初めて気付きました。

地元農業にエールを送り続けるために、地元朝市は大切にしよう…。そう感じた今回の訪問でした。(野菜、本当においしかったですよ。又行きますね。)

活動写真からの一枚



農業委員会では、農業委員・推進委員が耕作放棄地を解消する活動を行っています。今年は、丹後庄町の耕作放棄地に酒米の山田錦を植え、農地を再生しました。